

司 会 ①沼田兄 ②塩野兄 ③森下兄

奏 楽

祈 禱 ①三畑兄 ②新田兄

賛 美 聖歌232番 (平和はじめて知った)

使徒信条

聖 書 ① マタイによる福音書16章13～19節

②③ ローマ人への手紙5章1～11節

音 楽 ① 倉知師・森屋師

②③ 後藤晃士兄(伴奏:後藤真己姉)

証 詞 ① 秋田千夏子姉

メッセージ ① 「黄泉に打ち勝つ泉」 坪井永城副牧師

②③ 「神との平和の絶対性」 大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」 (献金・東日本の為)

頌 栄 「ハレルヤ」 (マラナタ) Iコリント16:22

祝 禱

(ローマ5)

「そして、希望は失望に終ることはない。
なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、
神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」

石の枕

2011年3月11日2時46分まで、私たちは見せかけの「平和」を甘受して生きてきたように思います。しかし、東日本大震災により、私たちの生きている世界が決して平和ではないことを目の当たりにしました。福島第一原子力発電所の事故によって原発の「安全神話」が崩壊したと共に、私たちの国の「平和神話」もついに崩壊したのです。

平和とは決して「戦争がない」状態のことではないことを知りました。ヒロシマ・ナガサキを経験した私たちが、今はフクシマに怯(おび)えています。また今年も沖縄が返還されて40年目の夏です。しかし今なおその空に静けさは戻っておらず、こうしている今も平和とは程遠い生活を強いられている人々が大勢いるのです。私たちの住む世界は決して平和ではないのです。

平和とは何でしょう。聖書の語る「平和」(シャローム)とは、「完全に充足した状態」のことです。多くの人が傷つき、多くの被造物が呻(うめ)く私たちの世界は、決して「シャローム」とは言えません。レイチェル・カーソンの書いた『沈黙の春』を思い出します。その中で彼女は汚染が広がる世界を「静かに水をたたえる池に石を投げこんだときのように輪を描いてひろがってゆく毒の波」にたとえました。この波の中に平和はありません。誰がこの石を投げたのでしょうか。私たちです。原子力発電所も基地も私たち人間がその石を投げたのではないのでしょうか。神を神としない私たちの罪という石が平和を壊しているのではないのでしょうか。(信徒の友8月号より)

お気づきでしょうか。日に何度か、教会の上を、米軍のすごい最新式の飛行機が轟音(ごうおん)を撒き散らして通過します。その度に、沖縄では、この何倍もの音が、市民を震え脅かしていることを心にとどめます。これはある意味で大和市に住んでいる者の特権かもしれません。「平和をつくり出す人は幸い」(マタイ5の9)と主は言われましたが、この8月は、真の平和とは何かを考える時でもあります。

本日の礼拝説教は、「神の平和」と「神との平和」の違いの深さに挑戦します。祈りつつ御言葉を聴きましょう。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ローマ6章～11章 Bコース:詩篇75篇～92篇

【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとうございます。田中正江姉(ハンナ会)
- ・ 本日「映画研究会」(映研)は、昼1時半～2時半。『大草原の小さな家』参加は無料、菅原伝道師による解説があります。
- ・ 本日から3回シリーズで「入門講座」がなされます。2階レインボールーム。9時～
- ・ ヨシユア会(森チャペル地下)、CS 禱援会、J.Plus 等あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に! 説教は菅原伝道師。水曜夜と木曜朝。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は久保田補教師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夕方6時～7時。説教は坪井副牧師。
- * SS キャンプは6日～8日。東山荘にて。お祈りください。
- * 大川牧師は7日～17日。カナダ宣教。お祈りください。